

令和4年度 学校評価アンケート 集計結果

児童

質問項目

【11月アンケート実施】

- 1 授業で学習していることがわかる。
- 2 学習のきまりやマナーを守り、落ち着いて学習している。
- 3 授業の中で友達とお互いに意見を出し合い、自分の考えや意見を広げたり深めたりしている。
- 4 授業では、目的（めあて）をもって、学習に取り組んでいる。
- 5 授業では、自分から考えたり調べたりして、学習に取り組んでいる。
- 6 他学年との交流活動（なかよし交流タイム・クラブ・委員会など）に、進んで取り組んでいる。
- 7 出前授業や校外学習などの体験的な学習に、進んで取り組んでいる。
- 8 長なわとびに 進んで取り組んでいる。
- 9 休み時間に、進んで運動に取り組んでいる。
- 10 自分から、あいさつをしている。
- 11 学校のルールを正しく守り、安全に気をつけて生活している。
- 12 地域やPTAの方々は、自分たちが安全に楽しく学校生活を送れるよう支えてくれている。（地域見守りたい・校外委員・ブックママ・おはようどんぐりこ・オヤジの会など）
- 13 進んで本を読んでいる。
- 14 地域の行事活動に、進んで 参加している。
- 15 タブレットを使うことによって、学習が進めやすい。
- 16 ルールを守ってタブレットを使っている。
- 17 手洗いをしたり、マスクを適切につけたりはずしたりして、健康を守ろうとしている。

【7月アンケート実施】

- 18 午前5時間授業は、勉強に集中できる。
- 19 午前5時間授業になって、「早寝、早起き、朝ごはん」など、毎日の生活リズムに気を付けて過ごすことができている。
- 20 午前5時間授業になり、放課後の時間を有効に使えるようになった。
- 21 [3～6年のみ] 教科によって授業の担当の先生が変わり、いろいろな先生に教えてもらうことで、授業がより詳しくわかる。
- 22 [3～6年のみ] 教科によって、授業の担当の先生が変わり、いろいろな先生に見守ってもらえて、安心できたり、相談できたりして過ごせる。
- 23 [3～6年のみ] 教科によって、授業の担当の先生が変わり、授業でいろいろな先生にほめてもらえると、自信がつく。
- 24 [3～6年のみ] マイプランを活用して、自分で学習の見通しをもって学んでいる。
- 25 [3～6年のみ] マイプランに、自分の予定や学習内容をメモするなどして、自分で予定をたてて過ごしている。

児童の声

《午前5時間授業について》

- 頭がすっきりしている午前中に勉強するのいいと思う。授業に集中できる
- 午後にたくさん勉強するのは気力が出ないから、給食の後は1時間の勉強がいい。
- 6時間目は総合など楽しい授業が多い。
- 早く帰れると、放課後たくさん遊べる。宿題や勉強をする時間がとれる。習い事の行くまでの時間ができ、息抜きの時間が増えた。塾の勉強がはかどり、早寝早起きができるようになった。下校時刻が早いのがいい。もっと早くてもいい。
- 朝ご飯を食べてもおなかがよく。集中力がもたない。家でござろござろしてしまい放課後の時間をあまり有効に使えていない。もう少し休み時間を長くしてほしい。

《教科分担任について》

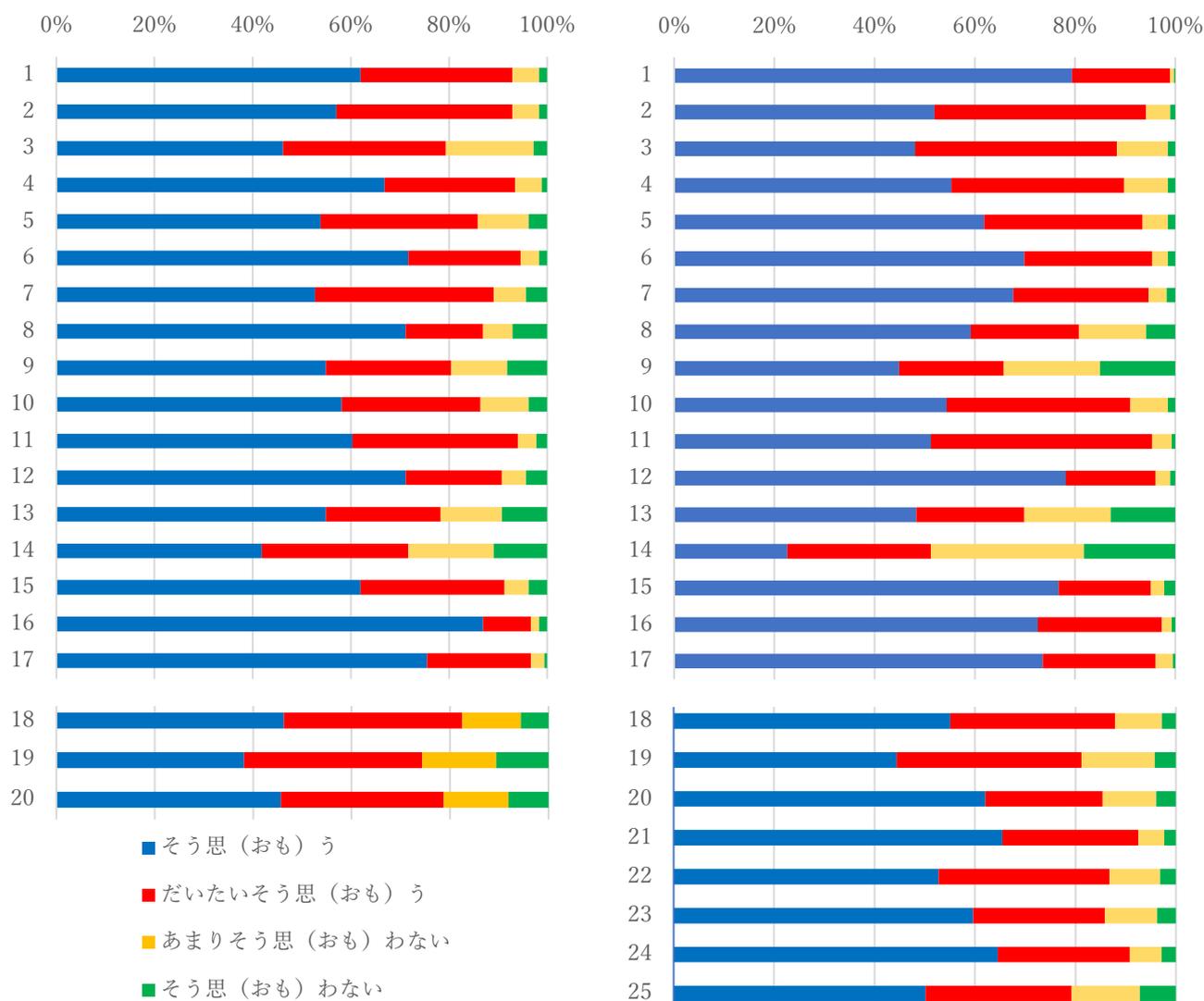
- いろいろな先生に教えてもらえて楽しい。いろいろな先生にほめてもらえてうれしい。自信がつく。いろいろな先生に守ってもらえるという安心感がある。高みを目指したくなる。
- 教科ごとの担当の先生がいると、詳しく教えてくれる。よく分かる。交換授業はやる気が出る。
- 次々と先生が変わって分かりにくい。交換授業だと緊張する。

《その他》

- 友達と遊べたり、話せたり、一緒に授業をしたりして学校生活が楽しい。家で勉強するより楽しい。
- 授業が分かりやすい。○タブレットを使って学習するのは便利で楽しい。○給食がおいしい。
- クラブの時、友達が他学年に自分たちから声をかけているのを見て、真似したいなど思った。
- 廊下を走っている人が多い。○水泳の授業が少ない。○もう少しあいさつをした方がいい。
- 中休みや5分休憩などの時間を守った方がいい。
- タブレットの約束を守っていない人があるので、ルールを守って使った方がいい。

1・2年

3～6年



考察

全体的に肯定的な回答が多い。特に質問6「他学年との交流活動（なかよし交流タイム・クラブ・委員会活動等）」については、「進んで取り組んでいる」という回答が多い。毎月1回の交流タイム以外でも、授業や日常生活の中で交流を深めている場面が見られる。今後も継続して実施し、異学年同士の学び合いを通して自己肯定感・自己有用感を育てていきたい。

質問12「地域やPTAの方々」についても「そう思う」の占める割合が大きい。これは例年同様の結果で、地域や保護者の方々が自分たちのために様々な活動をしてくださり、支えていただいているという意識が高いことが分かる。

3～6年は質問1・15「学習していることが分かる」「タブレットを使うことで学習が進めやすい」の項目で、「そう思う」の割合が高かった。また質問16から、「ルールを守ってタブレットを使っている」という意識が高いことも分かる。「児童の声」からは「ルールを守って使っていきたい」という声もあったので、使い方の約束や情報モラルについての指導を継続してしっかり行っていきたい。

質問18～23の午前5時間授業や教科分担制についても、肯定的な回答が多かった。「児童の声」からも、「午前5時間で集中できる」「放課後を有効に使える」「いろいろな先生に教えてもらうことで自信がつく、安心できる」という意見が多数あった。また、「休み時間はもう少し長い方がいい」という意見が多数あったので、来年度は毎月2回程程度のロング昼休みの設定を予定している。

質問19「早寝、早起き、朝ごはん」について、評価が若干低かった。子ども達の生活について、学校と家庭と連携していく必要があると思われる。また、質問11「地域の行事」についても、評価が低かった。まだまだコロナ禍で制限されているところが大きいですが、徐々に様々な行事が復活してきているので、地域との交流を深める機会を大切にしていきたい。

質問24・25「マイプラン」について、本校では3年前から3～6年生で活用し、児童が学習の見通しをもつための有効なツールとなっている。「自分で予定を立てて過ごしているか」については、評価が若干低かったので、児童がマイプランをより主体的に活用できるように工夫していきたい。